

**平成28年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 保健医療推進 室 地域医療推進 課

1. 基本情報

901

施設名	阪神北広域こども急病センター		
施設の設置目的	休日及び夜間において、伊丹市、宝塚市、川西市及び猪名川町の小児の患者に対して応急の診療を行う。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 健康で安心して暮らせる地域保健・医療 主要施策： 安心できる地域の医療サービス		
指定管理者の名称	公益財団法人 阪神北広域救急医療財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池 2-10		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	年間受診割合 (単位: %)	
	指標の意味	こども急病センター診療時間の同センター及び3市1町の市町域内の公立医療機関(小児科)の全受診者(一次医療)に占める同センターの受診割合	
	今年度の目標値	90	今年度の実績値 93

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H24	H25	H26	H27	H28(上期)	H28(通期)
	受診者数(人)	-	27,409	27,837	27,797	26,954	11,157	25,573
	電話相談件数(件)	-	14,355	14,251	14,745	15,214	7,128	14,727

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

〈単位:千円〉

		平成26年度(2014)	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	3カ年平均
指定管理者の収支	収入	使用料収入	0	0	0
		事業収入	358,656	339,474	339,225
		その他	26,904	26,898	27,198
		指定管理委託料	54,361	70,139	68,078
		①合計	439,921	436,511	434,501
	支出	維持管理	光熱水費	0	0
			清掃等委託料	0	0
			土地建物賃料	0	0
			修繕料	0	0
		運営	人件費	322,399	324,864
			事業等経費	0	0
			その他	117,522	111,647
			指定管理納付金	0	0
		②合計	439,921	436,511	434,501
		純収支(①-②)	0	0	0

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ 〈単位:千円〉		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	127,166	135,067	108,307	100,997	101,711	95,441
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	151,552	150,547	126,849	121,246	160,780	111,014
	(内、指定管理委託料)	151,544	150,531	126,840	107,043	106,754	100,548
	実質経費(歳出-歳入)	24,386	15,480	18,542	20,249	59,069	15,573

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	毎日の清掃の他、年4回定期清掃を実施し、館内は常に清潔に保っている。感染予防のため、定期的に手すりや椅子等の消毒を行っている。施設設備や医療機器の保守点検を適切に行い、トラブルなく運営している。	A	館内の衛生面・安全面に常に配慮し、定期的に施設の点検・確認を行い、備品等も適切に管理している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		A	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B	備品台帳は毎年更新し、遅滞なく市へ提出している。古着等を回収しウェスとして使用するなど環境にも配慮している。	B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	職員研修はOJTを中心に、外部の研修にも適宜参加し、資質向上を図っている。センター長の下に副センター長を置くなど、運営に必要な体制を満たしている。	A	通常の職員研修だけでなく、職員のスキルアップのための研修を実施している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡簿を各部署に周知。消防法に基づき8月と2月に消防訓練を実施した。	B	消防訓練も適切に行われており、緊急時の連絡体制を整備し日頃から備えている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	待合フロアやホームページで常に利用者の意見を投稿できるようにしている。苦情、トラブルには迅速に対応し、全職員で情報を共有して再発防止に努めた。	A	利用者からの意見に耳を傾け、より良い事業展開に繋げるよう努力している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業は計画通り実施。看護師ミニ講座やニュースレターなどを通じて、センターの適正利用を促すよう取り組んだ。	A	効果的に事業展開している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書類等は文書分類表に基づき適切に保管。個人情報の取扱いには十分配慮している。	B	個人情報については適切に管理されており、情報公開や広報活動も努力している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B	ホームページは適宜更新するとともに、センター便りやニュースレターを活用して情報提供を行っている。	B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	経費節減に努めるとともに、会計士による会計監査を年4回受け、適切な経理処理を行っている。	A	会計士による監査を受け、適正に処理している。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		A	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	夜間や休日の小児の急病時に、一次救急医療を提供することにより、子育て支援や安心できる地域の医療に寄与している。また、看護師ミニ講座など魅力ある事業実施も積極的に実施しており、高く評価する。
A	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成29年 3月 7日 ～ 平成29年 3月21日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用者からはおおむね満足度の高い回答ではあったが、電話相談の電話がつながりにくい状況についての意見があった。 (詳細は別添参照)	電話相談については毎年同様の指摘を受けているが、相談に当る看護師の配置が難しく、1回線のみで運用しているためご迷惑をおかけしている。出来る限り迅速丁寧な対応を今後とも心がけていきたい。
回答者数		
482		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
なし	なし
なし	なし